

令和8年度 八軒東中学校「学ぶ力」育成プログラム


学校番号：37008

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

| 「学ぶ力」 | |
|---|---|
| これまでの 成果 | 課題 |
| <p>◇共通指標アンケートの結果から、「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにし」たり、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」といった、他者との交流を通して、自分の考えを深めることができる生徒が多い。</p> <p>◇振り返ったことを次に生かそうとする生徒の割合も多い。</p> | <p>◇「自分で計画を立てて勉強し」たり、「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」生徒の割合がやや低い。(53.7%、59.1%)</p> <p>◇「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒の割合が10ポイント以上増えたものの、66.5%とまだ改善できる部分が多い。</p> |
| <p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇ほとんどの生徒が、他者に対しては「よいところを見付けようとし」、「役に立ててうれしいと感じ」「役に立つ人間になりたいと思う」一方、自分に対しては評価が厳しく、「必要とされている」とまでは感じられていない生徒が一定数いる。昨年度よりは「自分には良いところがある」「必要とされている」と感じる生徒は増えてきているので、授業や行事、委員会活動などの在り方の工夫・改善を継続し、自己肯定感や有用感が高まるよう働きかけていく。</p> | |

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら生活をコントロールする力、自分の意見を表現する力

| | AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進 | さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実 |
|----|---|--|
| 取組 | <p>◇◇研究副主題 自分を生かし、社会に生きて働く「本物の経験」につながる授業の実践</p> <p>→子どもが課題を自分ごととして捉えるイントロダクションの工夫</p> <p>→子どもそれぞれが自らの学びを進める個別探求と対話によって思考を再構築する協働探究の場面の設定</p> <p>→子どもが自らの学びや成長を振り返るリフレクションの工夫</p>  | <p>◇◇生徒主体の生徒会活動への変革</p> <p>→生徒の意見で学校が変わる生徒総会の実施</p> <p>生徒が企画・準備・運営を進める学校祭の実施</p> <p>◇自分たちの生活をコントロールする学年委員会の活動の充実</p> <p>→学級・学年の課題を洗い出し、改善のための活動を企画・実施していく各学年委員会の取組の充実</p> <p>→学年集会での、各委員会からの呼びかけ、振り返り</p> <p>→生徒による学年レクの企画で、楽しく運動に親しむ機会を創出</p> |

〈本プログラムの実行に向けて〉

